

事務局長方針

段 厚美

委員会日：毎月22日前後

＝委員会メンバー＝

事務局次長：柘植 信吾 保母 陽伺

運営幹事：鈴木 佑将

会計幹事：竹内 英貴

事務局員：勝野 泰将 武川 治宏 山田 淳詞

<事務局長方針>

これまで、先輩諸兄が築き上げてきた中津川青年会議所は、メンバー同士の縦の繋がりや横の繋がりをもって一丸となり活動して参りました。しかし、ここ近年、縦の繋がりはあるものの、横の繋がり弱くなってきているのではないのでしょうか。このまちを担うJAYCEEとして、メンバー全員が現状を理解し、対内外問わず誰かのために行動していくことで「明るい豊かな社会」の実現への一歩を踏み出す必要があると考えます。本年度事務局では、委員会の垣根を越えたサポートを行うと共に、次代へ繋げるための活動をして参ります。

会務運営では、各委員会が企画立案する事業計画書等の精査があります。ただ意見を出すだけではなく、各委員会と連絡を密に取り合い想いを共有し、一丸となってまちの発展に寄与できるよう努めて参ります。また、メンバーがスムーズにJC活動を行えるよう、効率的に例会・理事会を運営すると共に、資料の作成や記録の保全に努めて参ります。

渉外業務では、多くのメンバーに参加していただけるよう正確な情報を迅速に発信するだけでなく、メンバーのためにコンセプトをもって設営をすることで、多くのメンバーが同じ時間を共にする中で語り合っていただけるよう活動して参ります。また、広報活動においては、中津川青年会議所の活動を対外の方にご理解いただくためにも、わかりやすく興味を引くような工夫を施すことで、中津川青年会議所の価値を高められるよう尽力して参ります。出向者支援においては、中津川青年会議所の看板を背負って出向していただく以上、他人事と捉えず事務局が一丸となり、思いやりをもってサポートして参ります。

担当の事業として「会員拡大の推進」があります。JC活動を通じて、まちのため、誰かのために行動できる同志を増やしていくことが、このまちをより良く発展させていくことに繋がると考えます。そのためには、メンバーが会員拡大への意識を高め、まちの発展に寄与できる人財へと成長することが必要だと考えます。まちの青年世代と多くの交流を通して繋がりを持ち、より多くの方にJC活動を伝播するためにも、全メンバーが一丸となって取り組んでいただけるよう努めて参ります。

事務局メンバーには、LOMを支える根幹としての自覚や責任をもって、率先してメンバーと有機的な関係を築き、信頼されるメンバーになっていただきたいと思います。また、失敗を恐れることなく、多くのことにチャレンジして「多角的な視野と考え」を培っていただきたいと思います。

私は、事務局長として常に事務局メンバーのことを考え思いやりある行動をすると共に、仲間と切磋琢磨する中で得られる絆を皆で共有していきたいと思います。

<事業計画>

- ・会員拡大の推進

<事業予算>

- ・40,000円

<業務内容>

- ・理事会・例会の運営と記録の保全
- ・各委員会報告のとりまとめ
- ・会員拡大のとりまとめ
- ・経理業務
- ・渉外業務
- ・メンバーへの情報提供
- ・各事業への支援
- ・出向者への支援
- ・ホームページ、SNSの運営及び広報活動